



セカンド・パーティ・オピニオン

SECOND PARTY OPINION

麒麟ホールディングス株式会社

ソーシャルボンド(第 25・26・27 回無担保 社債)発行後定期レビュー

よろこびがつなぐ世界へ



Document title: 麒麟ホールディングス株式会社 ソーシャルボンド(第 25・26・27 回無担保社債) 発行後定期レビュー

Prepared by: DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

Location: 神戸、日本

Date: 31 Aug 2026

Identification (Report Nr.): PRJN-60868-2024-ANX-JPN-02

発行履歴

発行日	主な変更内容
2025 年 2 月 14 日	調達予定のソーシャルファイナンスに対する ANNEX-セカンド・パーティ・オピニオンとして作成・発行
2026 年 8 月 31 日	ソーシャルボンド(第 25・26・27 回無担保社債) 発行後定期レビュー (キリンホールディングス株式会社第 25・26・27 回無担保社債)

Disclaimer

Our assessment relies on the premise that the data and information provided by the client to us as part of our review procedures are provided in good faith. Because of the selected nature (sampling) and other inherent limitation of both procedures and systems of internal control, there remains the unavoidable risk that errors or irregularities, possibly significant, may not be detected. Limited depth of evidence gathering including inquiry and analytical procedures and limited sampling at lower levels in the organization were applied as per scope of work. DNV expressly disclaims any liability or co-responsibility for any decision a person or an entity may make based on this Statement.

Statement of Competence and Independence

DNV applies its own management standards and compliance policies for quality control, in accordance with ISO/IEC 17029:2019 - Conformity Assessment – General principles and requirements for validation and verification bodies, and accordingly maintains a comprehensive system of quality control, including documented policies and procedures regarding compliance with ethical requirements, professional standards and applicable legal and regulatory requirements. We have complied with the DNV Code of Conduct during the assessment and maintain independence where required by relevant ethical requirements.

スコープと目的

麒麟ホールディングス株式会社(以下、麒麟ホールディングス)は、DNV に 2025 年 5 月 29 日に発行したソーシャルボンド(第 25・26・27 回無担保社債、以下、ソーシャルボンド)の債券発行後定期レビューの実施を委託しています。DNV における債券発行後定期レビューの目的は、麒麟ホールディングスが、後述する基準であるソーシャルボンド原則(以下、SBP)及びソーシャルボンドガイドライン(以下、SBGL)に合致していることを確認するための評価を実施し、このソーシャルボンドの適格性についてセカンド・パーティ・オピニオンを提供することです。

麒麟ホールディングスは 2025 年 5 月 29 日にソーシャルボンドの債券を発行しました。この債券の発行額は 200 億円、償還期間は 3 年、300 億円、償還期間は 5 年、及び 150 億円、償還期間 7 年です。DNV は、SBP 及び SBGL に基き、定期レビューを実施しました。

この報告書ではソーシャルボンドの要求事項(後述する要素-1～要素-4)に対する発行後定期レビューを行います。

DNV は、独立した外部レビュー機関としてセカンド・パーティ・オピニオンの提供に際し、資金調達者とは事実及び認識においていかなる利害関係も持たないことを宣言します。

この報告書では、ソーシャルボンドの財務的なパフォーマンス、いかなる投資の価値、あるいは長期の社会的便益に関しての保証も提供されません。

適用又は参照される基準

No.	基準もしくはガイドライン	発行者	適用レベル
1.	ソーシャルボンド原則 (SBP)	国際資本市場協会 (ICMA) 、2023	適用
2.	ソーシャルボンドガイドライン (SBGL)	金融庁、2021	適用

適用：各ハンドブック、原則やガイドラインに共通する 4 要素すべてに対する適格性を評価した

麒麟ホールディングス及び DNV の責任

麒麟ホールディングスの管理者は、DNV がレビューを実施する間に必要な情報やデータを提供しました。DNV のステートメントは、独立した意見を表明するものであり、DNV に提供された情報を基礎として、その確立された基準が満たされているか否かについて麒麟ホールディングス及びこの債券に関わるその他の利害関係者に情報提供する事が、意図されています。DNV はそのレビューの中で、麒麟ホールディングスによって提供された情報および事実を根拠としています。DNV はこの意見表明によって参照される選定されたソーシャルプロジェクト資産の、いかなる側面においても責任を負う立場ではありません。従って DNV は麒麟ホールディングスの管理者から提供され、今回のレビューの基礎として使用された情報またはデータのいずれかが正確でなかった、または完全でなかった場合にその責任を負いません。

DNV の意見の基礎

DNV は、キリンホールディングスに特有のソーシャルボンド適格性評価手順（以下、「手順」）を適用するために、SBP 及び SBGL の要求事項を考慮したキリンホールディングスソーシャルボンド評価手順を作成しました。この手順は SBP 及び SBGL に基づく債券に適用可能です。DNV の手順は、DNV の意見表明の根拠に資する一連の適切な基準を含んでいます。その基準の背景にある包括的な原則は、ソーシャルボンドは「社会便益をもたらす新規又は既存プロジェクトのための資本調達や投資を可能とする」べきであるというものです。DNV は、ソーシャルファイナンスの運用・管理に関連する項目として以下の 4 つの要素を適用して定期レビューを実施しました。

資金使途を特定する資金調達（SBP、SBGL）

要素1. 調達資金の使途

調達資金の使途の基準は、ソーシャルボンドの発行者が適格性を有するソーシャルボンドにより調達した資金を適格プロジェクトに使わなければならない、という要求事項によって定められています。適格プロジェクトは、明確な社会的便益を提供するものです。

要素2. プロジェクトの評価及び選定のプロセス

プロジェクトの評価及び選定の基準は、ソーシャルボンドの発行者が、ソーシャルボンド調達資金を使途とする投資の適格性を判断する際に従うプロセスの概要を示さなければならない、また、プロジェクトが目的に対する影響をどのように考慮しているかの概要を示さなければならない、という要求事項によって定められています。

要素3. 調達資金の管理

調達資金の管理の基準は、ソーシャルボンドの資金調達者組織によって追跡管理されなければならないこと、また、必要な場合には、区別されたポートフォリオを構築し、未充当資金がどのように扱われるか公表するという観点で作成されなければならないことが、要求事項によって定められています。

要素4. レポーティング

レポーティングの基準は、債券及びローンへの投資家及び貸し手に対して、少なくとも、資金の充当状況及び可能な場合には定量的もしくは定性的かつ適切なパフォーマンス指標を用いたサステナビリティレポートを発行する、という推奨事項によって定められています。

評価作業

DNV の評価作業は、キリンホールディングスによって誠実に情報提供されたという理解に基づいた、利用可能な情報を用いた包括的なレビューで構成されています。DNV は、提供された情報の正確性をチェックするための監査やその他試験等を実施していません。DNV の意見を形成する評価作業には、以下が含まれます。

初回(ソーシャルボンド発行前)アセスメント * 本報告書には含まれません

- ファイナンスへの適用を目的としたキリンホールディングス特有の評価手順の作成。
- この債券に関してキリンホールディングスより提供された根拠文書の評価、及び包括的なデスクトップ調査による補足的評価。これらのチェックでは、最新のベストプラクティス及び標準方法論を参照します。
- キリンホールディングスとの協議及び、関連する文書管理のレビュー。
- 基準の各要素に対する観察結果の文書作成。

定期(年次)レビュー * 本報告書の内容

- ソーシャルボンド発行に関連したキリンホールディングスにより提供された根拠書類、上位レベルのデスクトップ調査、文書レビュー、及びキリンホールディングスの主要担当者へのインタビューで補足された根拠書類の評価。これらのチェックは、現在の評価ベストプラクティスと標準方法論を参照します。
- キリンホールディングスの管理者との協議、および関連文書管理のレビュー。
- 現地調査および検査（必要な場合）。
- 定期評価時点での、対象プロジェクト及び資産のレビュー。
- 本書で詳述されている、定期評価の観察結果の文書作成。

DNV の意見

DNV の監察結果の概要は以下の通りです。詳細はスケジュール-1 以降です。

UoP : 資金使途を特定する資金調達 (SBP、SBGL) に共通する4つの要素

UoP-1. 調達資金の使途

- DNV は、2026 年 7 月時点において、キリンホールディングスがソーシャルボンドで調達した資金(650 億円)の全額を以下の適格プロジェクト(表-1)に充当したことを確認しました。具体的には、キリンホールディングスが全世界の人々のより多くの健康課題の解決を通じて更なる経済的価値・社会的価値を創出するための、株式会社ファンケル(以下、ファンケル)の株式取得です。
- 資金使途対象はファンケルの株式取得額(買収額)のうち、SBP・SBGL に適合する事業セグメントや商品売上高の割合を按分した額をソーシャルファイナンスの充当可能額(評価額)として試算・設定し、その一部にソーシャルボンドによる調達資金を全額充当したことを DNV は確認しました。

表-1 ソーシャルプロジェクト(詳細はスケジュール-1 を参照してください)

ソーシャルプロジェクト			社会課題
ソーシャルプロジェクト概要	対象者	社会的便益	
ファンケルの株式取得	- 一般大衆 - 疾病等により特定の栄養素を必要とする人々	「健康な人を増やし、疾病に至る人を減らし、治療に関わる人に貢献」することを目指し、全世界の人々のより多くの健康課題の解決に貢献	- 健康・長寿の達成 - 超高齢化社会への対応 - 「治療」から「予防」(未病対策) - 女性活躍促進

ファンケル取扱い商品の概要

- ファンケルは、「美」と「健康」を中心に、美の領域では化粧品事業、肌着・雑貨事業を、健康の領域ではサプリメント事業、発芽米事業、青汁事業を、日本・中国等のアジアを中心に展開しています。
- 同社は「正義感を持って世の中の“不”を解消しよう」を創業理念に掲げ、不安・不便・不満、「不」のつく言葉を世の中からなくすことに取組んでいます。化粧品による肌トラブルが社会問題になっていた 1980 年に、「添加物をいっさい使わず、使う人の肌を美しくする本物の化粧品を届けたい」という想いから、無添加化粧品を誕生させました。また、高価なイメージが定着していた栄養補助食品を「サプリメント」という言葉と共に世の中へ定着させ、青汁・発芽米などの高付加価値商品を送りだしてきました。
- ファンケルの株式取得により、以下①～③に示すような幅広いシナジーを創出することで、多くの健康に関する事業課題解決への貢献に寄与することが期待されます。
 - ① ヘルスサイエンス事業における国内外の販売基盤の連携強化
 - ② CRM の高度化
 - ③ 研究開発面での協業深化

UoP-2. プロジェクトの評価と選定のプロセス

- DNV は、レビューを通じてキリンホールディングスの財務担当部門、CSV 担当部門が、「キリン・ソーシャルファイナンス・フレームワーク」で定めた適格プロジェクトを選定し、財務担当部門の執行役員が選定された適格プロジェクトの最終決定を行ったことを確認しました。

- DNV は、キリンホールディングスが、当該プロジェクトの選定に当たり「適用又は参照される基準」に示す適格クライテリアに合致すると共に、プロジェクトの実行に伴うネガティブな影響を評価、検討し、環境・社会的リスクを事前に確認していることを確認しました。

UoP-3. 調達資金の管理

- DNV は、キリンホールディングスが債券発行から定期レビューまでの間、どのように資金を追跡管理したか確認しました。
- キリンホールディングスは、ソーシャルボンドで調達した 650 億円全額を調達後速やかにファンケルの株式取得に係る資金にリファイナンスとして充当し、未充当は生じていないことを確認しました。

適格プロジェクト	ソーシャル分類	充当時期(実績)	充当額
ファンケルの株式取得	■ 必要不可欠なサービスへのアクセス ■ 食料の安全保障と持続可能な食料システム ■ 社会経済的向上とエンパワーメント	2025 年 5 月(完了)	650 億円 (リファイナンス割合:100%)

UoP-4. レポートニング

- DNV は、キリンホールディングスがキリン・ソーシャルボンドの調達資金の全額が充当済みであり、未充当金が発生していないこと、及び、調達された資金が償還されるまでの間、適格プロジェクトによってもたらされる社会的便益に関する特定の情報を年次でウェブサイト上に公表することを確認しました。なお、調達資金は全額充当完了していますが、今後充当した適格プロジェクトの実行状況等に大きな変更が生じる等の重大な事象が生じた場合は適時に開示する予定です。主要な報告項目は以下を予定しています。

<資金充当状況レポートニング>

- 充当対象となる適格クライテリア及び充当金額：ファンケルの株式取得(650 億円)
- 未充当金の残高及び運用方法：未充当金残高なし

<社会的便益>

- ファンケルが取り扱う製品へのアクセス向上
- ファンケルブランド認知人数：8,086 万人
- ファンケルブランド購入人数：2,117 万人

適格プロジェクト	アウトプット	アウトカム	インパクト
ファンケルの株式取得	ファンケルの子会社化	ファンケルが取り扱う製品へのアクセス向上	「健康な人を増やし、疾病に至る人を減らし、治療に関わる人に貢献」することを目指し、全世界の人々のより多くの健康課題の解決に貢献

DNV が実施したソーシャルボンド発行後の適格性評価(定期レビュー)の結果(「DNV の意見」の章で記載される内容)に基づいて、このソーシャルボンドが上述の適用される基準の要素に対して、準拠していないと信じさせる事項はすべての重要な点において認められませんでした。

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

神戸、日本 2026 年 8 月 31 日



金留 正人

テクニカルレビューアー

DNVビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社



塚崎 旭

プロジェクトマネージャ

DNVビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

About DNV

Driven by our purpose of safeguarding life, property and the environment, DNV enables organisations to advance the safety and sustainability of their business. Combining leading technical and operational expertise, risk methodology and in-depth industry knowledge, we empower our customers' decisions and actions with trust and confidence. We continuously invest in research and collaborative innovation to provide customers and society with operational and technological foresight.

With our origins stretching back to 1864, our reach today is global. Operating in more than 100 countries, our 15,000 professionals are dedicated to helping customers make the world safer, smarter and greener.

スケジュール 1：キリン・ソーシャルボンド候補プロジェクト

表中に記載されている対象プロジェクトは、ソーシャルボンド発行後(2026 年 7 月現在)、既に充当されたプロジェクトです。

ソーシャルプロジェクト分類		ソーシャルプロジェクト			社会課題	SDGs への貢献	充当時期	充当額
事業区分	事業区分の細目	ソーシャルプロジェクト概要	対象者	社会的便益				
■ 必要不可欠なサービスへのアクセス ■ 食料の安全保障と持続可能な食料システム ■ 社会経済的向上とエンパワーメント	- 健康、健康管理 - 食料必要要件を満たす安全で栄養価の高い十分な食品への物理的、社会的、経済的なアクセス - 食生活改善・未病対策	ファンケルの株式取得	- 一般大衆 - 疾病等により特定の栄養素を必要とする人々	「健康な人を増やし、疾病に至る人を減らし、治療に関わる人に貢献」することを目指し、全世界の人々のより多くの健康課題の解決に貢献	- 健康・長寿の達成 - 超高齢化社会への対応 - 「治療」から「予防」(未病対策) - 女性活躍促進	  	2025 年 5 月 (完了)	650 億円 (リファイナンス割合 100%)

スケジュール 2：ソーシャルボンド適格性評価手順

下記 SBP-1 ～ SBP-4 は、ソーシャルボンド原則(SBP)を基に、キリンホールディングスソーシャルボンド適格性評価用に作成された DNV 評価手順です。

UoP-1 調達資金の使途

Ref.	基準	要求事項	評価作業(確認した項目)	DNV観察結果
1a	資金の種類	ソーシャルボンドの種類は SBP で定義される以下の種類のいずれかに分類される。 ・(標準的)ソーシャルボンド ・ソーシャルレベニューボンド ・ソーシャルプロジェクトボンド ・その他	確認した文書類 -フレームワーク -ソーシャルボンド適格性評価資料 関係者へのインタビュー	DNVは、評価作業を通じキリンホールディングスのソーシャルボンドが以下のカテゴリに分類されることを確認した。 ・(標準的) ソーシャルボンド
1b	ソーシャルプロジェクト分類	ソーシャルボンドにおいて肝要なのは、その調達資金がソーシャルプロジェクトのために使われることであり、そのことは、ソーシャルボンド発行に係る法的書類に適切に記載されるべきである。	確認した文書類 -フレームワーク -ソーシャルボンド適格性評価資料 関係者へのインタビュー	DNV は調達資金の全額が、以下のプロジェクトに充当されたことを確認した。 「必要不可欠なサービスへのアクセス(健康、健康管理)」 「食料の安全保障と持続可能な食料システム(食料必要要件を満たす安全で栄養価の高い十分な食品への物理的、社会的、経済的なアクセス、食生活改善・未病対策)」 「社会経済的向上とエンパワメント」
1c	社会面での便益	調達資金使途先となる全てのソーシャルプロジェクトは明確な社会面での便益を有すべきであり、その効果は発行体によって評価され、可能な場合は、定量的に示されるべきである。	確認した文書類 -フレームワーク -ソーシャルボンド適格性評価資料 関係者へのインタビュー	DNV は、ソーシャルプロジェクトが、キリンホールディングスによって客観的な社会課題であること、地域性の考慮、プロジェクト実行による受益者及び社会貢献(成果)が明確にされていることを確認した。 具体的には、ファンケル完全子会社化により、同社が取り扱う商品へのアクセス向上等により、「健康な人を増やし、疾病に至る人を減らし、治療に関わる人に貢献」することを目指し、全世界の人々のより多くの健康課題解決への貢献が期待できることを確認した。

Ref.	基準	要求事項	評価作業(確認した項目)	DNV観察結果
1d	リファイナンスの割合	調達資金の全部あるいは一部がリファイナンスのために使われる場合、又はその可能性がある場合、発行体は、初期投資に使う分とリファイナンスに使う分の推定比率を示し、また、必要に応じて、どの投資又はプロジェクトポートフォリオがリファイナンスの対象になるかを明らかにすることが推奨される。	確認した文書類 -フレームワーク -ソーシャルボンド適格性評価資料 関係者へのインタビュー	ソーシャルボンドにより調達した資金がスケジュール-1 に掲げるソーシャル・プロジェクトに新規投資およびリファイナンスとして全額充当されたことを確認した。また、資金の充当状況及びリファイナンスの割合(100%)については年次レポートにて開示する予定であることを確認した。

UoP-2 プロジェクト選定及び評価のプロセス

Ref.	基準	要求事項	評価作業(確認した項目)	DNV観察結果
2a	プロジェクト選定のプロセス	ソーシャルボンドの発行体はソーシャルボンド調達資金の使途となるプロジェクトの適格性を判断したプロセス概要を示すべきである。これは以下を含む(これに限定されるものではない) - 発行体が、対象となるプロジェクトが適格なグリーンプロジェクトの事業区分に含まれると判断するプロセス - ソーシャルボンド調達資金の使途となるプロジェクトの適格性についての規準作成 - 社会面での持続可能性に係る目標	確認した文書類 -フレームワーク -ソーシャルボンド適格性評価資料 関係者へのインタビュー	キリンホールディングスが、財務担当部門及び CSV 担当部門がフレームワークで定めた適格クライテリアを満たすプロジェクト(適格プロジェクト)として選定し、財務担当部門の執行役員が選定された適格プロジェクトの最終決定を行ったことを確認した。また、キリンホールディングスが、当該プロジェクトの選定に当たり「適用又は参照される基準」に示す適格クライテリアに合致すると共に、プロジェクトの実行に伴うネガティブな影響を評価、検討し、環境・社会的リスクを事前に確認していることを確認した。
2b	発行体の環境及び社会的ガバナンスに関するフレームワーク	ソーシャルボンドプロセスに関して発行体により公表される情報には、規準、認証に加え、ソーシャルボンド投資家は発行体のフレームワークや環境に関連する持続性に関するパフォーマンスの品質についても考慮している。	確認した文書類 -フレームワーク -ソーシャルボンド適格性評価資料 関係者へのインタビュー	キリンホールディングスのソーシャルプロジェクトは、キリンホールディングスの「CSVパーパス」や「長期経営構想 キリングroup・ビジョン 2027(KV2027)」と一致しており、プロジェクトの実行に際しては、環境関連法令、条例、諸規則及び当該地域との協定の遵守、周辺環境への配慮などが考慮されていること、適格プロジェクト固有のリスクについては、各種デューデリジェンスによるリスク項目の抽出を行い、適切な対応・手続きを実施していることを確認した。また、ソーシャルプロジェクトによる社会的便益が明確になっていることを、フレームワーク等の文書確認や関係者へのインタビューを通じて確認した。

UoP-3 調達資金の管理

Ref.	基準	要求事項	評価作業(確認した項目)	DNV観察結果
3a	調達資金の追跡管理-1	ソーシャルボンドによって調達される資金に係る手取金は、サブアカウントで管理され、サブ・ポートフォリオに組み入れ、又はその他の適切な方法により追跡されるべきである。また、ソーシャルプロジェクトに係る発行体の投融資業務に関連する正式な内部プロセスの中で、発行体によって証明されるべきである。	確認した文書類 -フレームワーク -ソーシャルボンド適格性評価資料 -資金管理情報(送金明細) 関係者へのインタビュー	DNVは文書レビューとインタビューにより、調達した資金に係る手取金が、ただちにソーシャル適格プロジェクトに充当されたことを確認した。
3b	調達資金の追跡管理-2	ソーシャルボンドの償還期間において、追跡されている調達資金の残高は、一定期間ごとに、当該期間中に実施された適格プロジェクトへの充当額と一致するよう、調整されるべきである。	確認した文書類 -フレームワーク -ソーシャルボンド適格性評価資料 -資金管理情報(送金明細) 関係者へのインタビュー	DNVは、キリンホールディングスがソーシャルボンドの実行から充当完了まで、調達資金の充当状況が管理されたことを確認した。
3c	一時的な運用方法	適格性のあるソーシャルプロジェクトへの投資または支払いが未実施の場合は、発行体は、未充当資金の残高についても、想定される一時的な運用方法を投資家に知らせるべきである。	確認した文書類 -フレームワーク -ソーシャルボンド適格性評価資料 -資金管理情報(送金明細) 関係者へのインタビュー	DNVは、今回のソーシャルボンドによる調達資金の全額が、資金調達後ただちに全額充当され、未充当資金は発生していないことを確認した。

UoP-4 レポーティング

Ref.	基準	要求事項	評価作業(確認した項目)	DNV観察結果
4a	定期レポートの実施	調達資金の使途及び未充当資金の一時的な投資のレポートに加え、発行体はソーシャルボンドで調達した資金が充当されているプロジェクトについて、少なくとも年に1回、以下を考慮した上で、各プロジェクトのリストを提供すべきである。 -守秘義務や競争上の配慮 -各プロジェクトの概要、期待される持続可能な環境・社会的な効果	確認した文書類 -フレームワーク -ソーシャルボンド適格性評価資料 -年次レポート案 関係者へのインタビュー	DNVは、麒麟ホールディングスが麒麟・ソーシャルボンドの調達資金が全額充当済みであり、未充当額は発生していないことをウェブサイト上に公表する予定であることを確認した。また調達資金は全額充当完了済みであるが、今後充当した適格プロジェクトの実行状況等に大きな変更が生じる等の重要な事業が生じた場合は適時に開示する予定であることも確認した。 (社会的便益) DNVは、麒麟ホールディングスが、現時点で想定するレポート指標については以下を予定していることを確認した。今後のファンケルとの事業展開に応じて、実務上可能な範囲でその取組内容についてレポートする予定です。 ファンケルが取り扱う製品へのアクセス向上(ブランド認知人数及びブランド購入人数)

原則やガイドラインで定義される外部レビューの役割

- 1. セカンド・パーティ・オピニオン：**発行体とは独立した環境面での専門性を有する機関がセカンド・パーティ・オピニオンを発行することができる。その機関は発行体のソーシャルボンド・フレームワークにかかるアドバイザーとは独立しているべきであり、さもないとセカンド・パーティ・オピニオンの独立性を確保するために情報隔壁のような適切な手続きがその機関のなかで実施されるものとする。セカンド・パーティ・オピニオンは通常、SBP との適合性の査定を伴う。特に、発行体の包括的な目的、戦略、環境面での持続可能性に関連する理念及び／又はプロセス、かつ資金使途として予定されるプロジェクトの環境面での特徴に対する評価を含み得る。
- 2. 検証：**発行体は、典型的にはビジネスプロセス及び／又は環境基準に関連する一定のクライテリアに照らした独立した検証を取得することができる。検証は、発行体が作成した内部又は外部基準や要求との適合性に焦点を当てることができる。原資産の環境面での持続可能性に係る特徴についての評価を検証と称し、外部クライテリアを参照することもできる。発行体の資金使途の内部的な追跡手法、ソーシャルボンドによる調達資金の配分、環境面での影響評価に関する言及又はレポーティングのSBP との適合性の保証もしくは証明を検証と称することもできる。
- 3. 認証：**発行体は、ソーシャルボンドやそれに関連するソーシャルボンド・フレームワーク、又は調達資金の使途について、一般的に認知された外部のグリーン基準もしくは分類表示への適合性に係る認証を受けることができる。基準もしくは分類表示は特定のクライテリアを定義したもので、この基準に適合しているかは通常、認証クライテリアとの適合性を検証する資格を有し、認定された第三者機関が確認する。
- 4. ソーシャルボンドスコアリング／格付け：**発行体は、ソーシャルボンドやそれに関連するソーシャルボンド・フレームワーク又は資金使途のような鍵となる要素について、専門的な調査機関や格付機関などの資格を有する第三者機関の、確立されたスコアリング／格付手法を拠り所とする評価又は査定を受けることができる。そのアウトプットは環境面での実績データ、SBP に関連するプロセス又は 2℃気候変動シナリオなどの他のベンチマークに着目する場合がある。ソーシャルボンドスコアリング／格付けは、たとえ重要な環境面でのリスクを反映していたとしても、信用格付けとは全くの別物である。



WHEN TRUST MATTERS

About DNV

Driven by our purpose of safeguarding life, property and the environment, DNV enables organisations to advance the safety and sustainability of their business. Combining leading technical and operational expertise, risk methodology and in-depth industry knowledge, we empower our customers' decisions and actions with trust and confidence. We continuously invest in research and collaborative innovation to provide customers and society with operational and technological foresight. With our origins stretching back to 1864, our reach today is global. Operating in more than 100 countries, our 16,000 professionals are dedicated to helping customers make the world safer, smarter and greener group. All rights reserved.